

しめむねを歩こう！
街道めぐり

中山道と甲州街道が会おう
大社といで湯の宿場まち

裏面は
中山道

下諏訪の 甲州道中

甲州道中

甲州道中は、日本橋から下諏訪を結ぶ五十三里十一町の街道で五街道のひとつに数えられます。初めは甲州海道といいましたが、海辺を通る道ではないからと、正徳六年(1716)甲州道中と改称されました。

甲州道中は徳川幕府が、豊臣恩顧の外様大名らが江戸へ攻めてきた時の逃げ道として作られました。参勤交代でこの街道を通った大名は、信州の高島、高遠、飯田の三藩と甲斐の諸藩にすぎず、公用の通行といえは、江戸城へのお茶壺道中の外、江戸幕府と甲府勤番、代官所との連絡が主でした。中山道などに比べれば通行者は少なかつたのですが、多くの旅人が行き交う道でした。

- 地図の凡例
- 甲州道中
 - 中山道
 - トイレ
 - 温泉
 - 旅館・ホテル
 - 好展望地
 - 食事・レストラン
 - 観光案内
 - AED設置施設
 - Wi-Fiスポット
 - 神社 寺院



1 杉の木社

尾掛松と呼ばれる古木が、現在の杉の木社の傍らにそびえていました。この木はマツスギ、ヒムロなどに植え替えられ、神木として祭られてきました。近年まであった木はヒノキ科の柏槇(びやくし)で、樹齢約千年、目通り周囲3.2m。昭和五十六年、町の天然記念物に指定されました。



A 尾掛松の伝説

その昔、神々が出雲の国で会議を開いた際、思い思いの姿でお出かけになった。諏訪明神は竜の姿で参加されたが尾が見えない。尾はどこ？との問いに「尾は高木の尾掛松に掛かっている」と答えられた。この言葉が現在の大和(おわ)・高木という地名の由来と伝えられている。



2 橋本政屋

上諏訪宿と下諏訪宿の間に残る中の茶屋。江戸時代の面影がそのまま残っています。門は高島城の門を移築した物か、あるいは写しと言われ、医薬門という格式ある形式。旅人の安全を祈願し、門の上には南無阿弥陀仏の札と緒に円鏡が揚げられています。



3 津島神社

尾張津島神社の分社で、素戔嗚尊(すさのお)が主神として祀られています。旧高木村の鎮守として崇敬され、明治五年には村社に昇格。境内には島木赤彦、伊藤左千夫・斎藤茂吉の歌碑や岩本木外の句碑、大和作内制作のブロンズ像があります。



4 柿蔭山房

アララギ派の詩人、島木赤彦の自宅。歌を発表する時「柿の村人」と号したこともあり、自宅を柿蔭山房と名づけました。樹齢三百年を超えるという老松が、今も見事な枝を張っています。大正十五年三月二十七日、五十歳で亡くなった赤彦を偲び、昭和六十三年より赤彦忌を開催しています。



湖の水はとけてなほさむし
三日月の影波にうつろふ
島木 赤彦

10 甲州道中 中山道合流の碑

江戸から五十三里十一丁地点で中山道と合流しています。付近には日帰り温泉もあります。



10 中山道との合流点
下諏訪宿
諏訪大社 下社秋宮
承知川橋
9
5 高木城跡
6
7 石投場
8 一里塚 (五十三里)
9 承知川橋
10 甲州道中
中山道



5 藤の木社

金刺氏の分家、高木氏の神社。永正五年、下社の金刺氏が上社との抗争に敗れ、滅びた後に金刺の支配下にあった地域は上社の支配になりました。

6 高木城跡

金刺氏の分家である高木氏の山城。山城は近世の平城と違つて居住はせず、武器弾薬、宝物を保管する場所として使われました。城主、大和監物の墳墓は慈雲寺にあり、過去帳からは高木城主と大和城主が同属で、互いに助け合う関係にあったと推測されています。

7 石投場

諏訪湖を眼下にした展望に優れた場所。昔は石を投げれば諏訪湖に届くような所だったことから名づけられました。明治十三年、明治天皇ご巡幸の折には、ここから漁夫たちの投網の様子をご覧になったといひます。地元高木地区では、その記念に明治天皇駐蹕址と刻まれた大きな碑を建てました。



明治天皇駐蹕址(ちゅううれんし)の碑

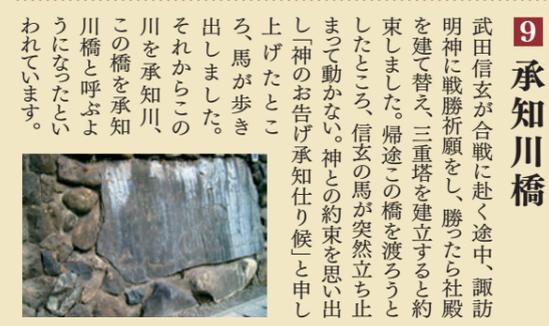
9 承知川橋

武田信玄が合戦に赴く途中、諏訪明神に戦勝祈願をし、勝つたら社殿を建て替え、三重塔を建立すると約束しました。帰途この橋を渡ろうとしたところ、信玄の馬が突然立ち止まると動かない。神との約束を思い出し「神のお告げ承知仕り候」と申し上げたところ、馬が歩き出しました。それからこの川を承知川、この橋を承知川橋と呼ぶようになったといわれています。



B 東照寺の飴釉瓶子

大正元年に東照寺の印花4つを刻みめぐりの一部から6個の完全な瓶子が発掘されました。瓶子は正しく二列に埋められていたといひ、6個のうち1個残ったものも長崎氏の手で保管されています。器は飴釉瀬戸、淡い茶色で高さ二十七cm、胴の径十八cmあり、胎土には美しい菊の模が大きなものと思われま。



8 一里塚 (五十三里)

六方石でできた一里塚。六方石は、打てばかんと金風音を発するのと俗称から石と言われ、形状からは棒石とも言われます。一里塚の碑には「甲州道中一里塚 江戸より五十三里、昭和三十年建立」とあります。

お問い合わせ先
★観光については
下諏訪観光協会
〒393-8501 長野県下諏訪町下諏訪4613-8
TEL.0266-26-2102

★宿泊については
下諏訪観光案内所 (水曜定休)
〒393-0056 長野県下諏訪町下諏訪5317
TEL.0266-28-2231

◎発行 / 下諏訪町産業振興課
◎監修 / 郷土史家 蟹江 文吉
※掲載情報は2023年7月現在のものです

◎企画・制作 / 下諏訪商工会議所